

# 前線に伴う大雨よる現地調査 (福岡県宇美町)

令和3年8月前線に伴う大雨により被災した福岡県宇美町において、斜面の土砂崩れが発生し市道の被害が発生。福岡県及び宇美町より支援要請があったことから、現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を実施した。

出席者:九州大学大学院 三谷教授、福岡県、宇美町

## ● TEC-Doctorによる調査(令和3年8月19日)



### 【今回の災害について】

○被災原因は降雨による表層崩壊であり、崩壊深(すべり面)はそんなに深くないものと考えられる。

### 【対策方法について】

○応急復旧として、

- ・道路上の崩壊土砂は片交出来るぐらいまで撤去しても問題ない。(撤去後は土嚢等で二次崩壊を防ぐこと)
- ・片交で交通解放の際は、雨量基準を設けて、降雨が多い場合は止めるなどを考えること。
- ・水が集まって来る地形であり、横ボーリング等による排水処理(暗渠排水)を考慮すること。
- ・雨がトリガーなので、崩壊箇所はブルーシート等で覆った方が良い。
- ・地下排水の流末処理(溜柵)を設置、下流の調整池への処理が良い。
- ・斜面上の住民は避難する必要は無い。